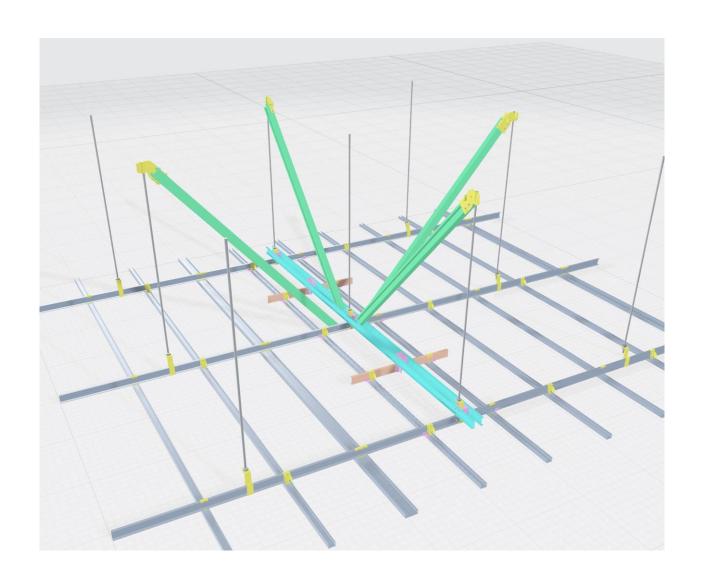
特定天井【水平震度2.2G】に対応

MC高耐震工法 strong 38

標準施工要領書





INDEX

•	取扱注意事項	•	•	•	•	1		
1.	適用範囲		•	•	•	2		
2.	各部の名称・仕様・構成部材							
	2-1 各部の名称	•	•	•	•	2		
	2-2 仕様	•	•	•	•	3		
	2-3 種類、構成部材	•	•	•	•	"		
3.	標準施工要領							
	3-1 クリップの取り付け	•	•	•	•	4		
	3-1-1 クリップ及び同梱ねじ	•	•	•	•	"		
	3-1-2 緊結方法	•	•	•	•	"		
	3-2 部材の選定	•	•	•	•	4	\sim	5
	3-2-1 ブレース上部	•	•	•	•		"	
	3-2-2 ブレース下部	•	•	•	•		"	
	3-3 ブレース補強設置要領	•	•	•	•	6		
	3-4 ゾーニング	•	•	•	•	"		
	3-5 耐震補強部材の取り付け方法	•	•	•	•	7		
	3-5-1 ブレース補強ユニットの設置	•	•	•	•	"		
	3-5-2 ブレース補強ユニット設置例	•	•	•	•	8		
	3-5-3 ブレース下部受け材の取り付け	•	•	•	•	9		
	3-5-4 ブレースの取り付け方法	•	•	•	•	10	\sim	11
	3-5-5 クリップの補強方法	•	•	•	•	12		
4.	品質管理							
	4-1 自主検査表(MC高耐震工法strong38)	•	•	•	•	12	\sim	13



取扱注意事項

取扱事故防止のため下記事項をよくお読みの上、正しくご使用下さい。

- 1. 搬入時、鋼製下地材は滑りやすいので、資材の落下やずり落ちが起きぬよう事前の対策を充分にたて、ケが、や腰痛の防止を行って下さい。 (現場での小運搬は無理のないようご注意下さい。)
- 2. 鋼材の切り口は鋭利であり、また、切断時にはバリも生じやすいので手を傷つけないようにして下さい。(皮革製の保護手袋を着用して下さい。)
- 3. 素手による取り扱い、または素肌の露出部はケガをするおそれがありますのでご注意下さい。 (素肌はなるべくさけるような服装にして下さい。)
- 4. 梱包用スチールバンドおよび針金等の切断時のはねあがり等によるケガが生じますのでご注意下さい。 (梱包をとく場合は状況判断して作業して下さい。)
- 5. 搬入時や保管時について次のような事項にご注意して下さい。
 - ① 原則として、屋内の湿気をよばない場所に保管して下さい。 (やむを得ず屋外に置く場合には防水シート等をかけて下さい。)
 - ② 製品は、地面に直接置かないで平らなところにかい木をして水平に置き、積み重ねる場合は間木を施して荷崩れを起こさないように置いて下さい。
 - ③ クレーン荷揚げ等の運搬に際しては、布製平型吊りバンドを使用するなど製品の角や表面の損傷にご注意下さい。また、製品の上に重い物を乗せないで下さい。
- 6. 附属金物について次のような事項にご注意下さい。
 - ① 取り付け、取り扱いについては個別のカタログ、施工要領書を厳守して下さい。 (誤ったご使用は、事故の発生や製品強度を極端に低下させる恐れがあります)
 - ② 取り付けや固定に使用するビス類に、種類・長さ等指定がある場合は必ず指定通りのビスを ご使用ください。また、ビスの止め方や本数についても仕様を厳守して下さい。 (指定以外のビスを使用した場合及び仕様以外の止め方をした場合、表示してある強度の保 証は出来ません)

日本鋼製下地材工業会発行 「建築用鋼製下地材(壁・天井) 取扱注意事項」より抜粋・追加

1. 適用範囲

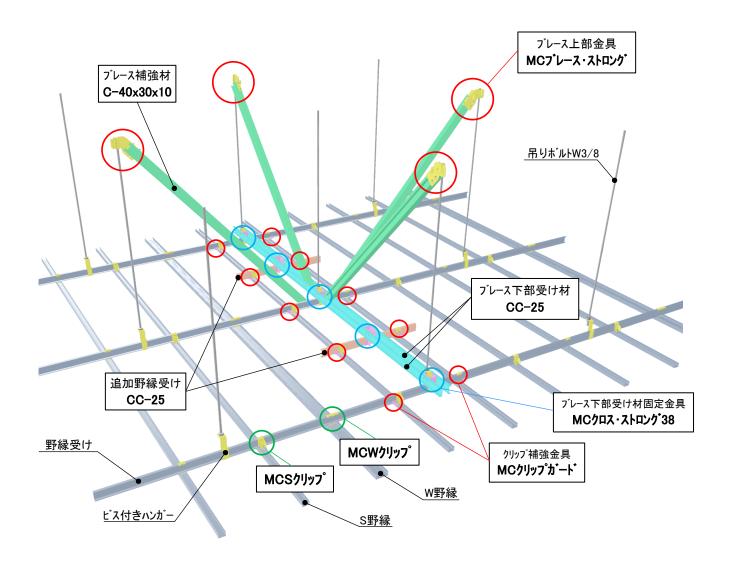
この施工要領書は、平成25年国土交通省告示第771号「特定天井及び特定天井の構造耐力上安全な構造方法を定める件」に対応した耐震天井、「MC高耐震工法Strong38」の標準施工方法について規定する。

墨出しや各天井部材の取り付け、各部の納まり等については公共建築工事標準仕様書又は設計図書の通りとする為、この施工要領書では詳細を省く。

2. 各部の名称・仕様・構成部材

2-1 各部の名称 各部の名称を図1に示す。

図1.「MC高耐震工法Strong38」各部の名称(施工例)



2-2 仕様 「MC高耐震工法Strong38」の仕様を表1に示す。

表1. 仕様

	野縁受け	野縁	ブレース補強材	ブレース下部受け材	追加野縁受け	クリップの補強
仕様	CC-25	CS-19•CW-19	C-40x30x10	CC-25	CC-25	MCクリッフ [°] カ゛ート゛
	@900mm	@303mm	t 1.4mm	2本使用	2本使用	10個使用

2-3 種類、構成部材

「MC高耐震工法Strong38」を構成する各部材を下表に示す。

表2.「MC高耐震工法Strong38」部材一覧表

		用途	耐震・耐風圧クリップ					
耐		商品名∙板厚	MCSクリップ [°] (t0.8mm)					
震ク			MCWクリップ [°] (t0.8mm)					
リッ		規格•材質	JIS G 3302 SGCC					
プ		表面処理	Z12					
		備考	同梱ビス S用 2000本、W用 1000本(野縁受け用、野縁用)					
		用途	ブレース上部金具					
		商品名•板厚	MCプレース・ストロング、MCプレース・ストロングL					
			(可動片,カバー部 t2.3mm・固定片 t3.2mm)					
		規格•材質	JIS G 3302 SGHC					
	0	表面処理	Z12					
	0	備考	許容耐力 4,890N					
耐		用途	ブレース下部受け材の固定					
震		商品名•板厚	MCクロス・ストロンク [*] 38 (t1.6mm)					
補 強								
金具		規格・材質	JIS G 3302 SGCC					
呉		表面処理	Z12					
		備考	許容耐力 2,835N					
		用途	クリップ補強金具					
		商品名•板厚	MCクリップ [°] カ゛ート゛(t1.6mm)					
		規格・材質	JIS G 3302 SGHC					
	0	表面処理	Z12					
		備考	許容耐力 517N(野縁方向最大2,358N)					
		用途	水平・斜め補強用金具					
そ	60	商品名•板厚	チャンネルフリークリップ゜(t0.8mm)					
Ø		規格・材質	JIS G 3302 SGCC					
他		表面処理	Z12					
		備考	ドリルねじ4x13 200本付					

3. 標準施工要領

3-1 クリップの取り付け

MC/Jリップを下記手順に沿って取り付ける。t 、 τ 、 τ ないに使用するねじは同梱ねじを必ず使用すること。

3-1-1 クリップ及び同梱ねじ

MCクリップ及び同梱ねじの種類、数量は表3.による。

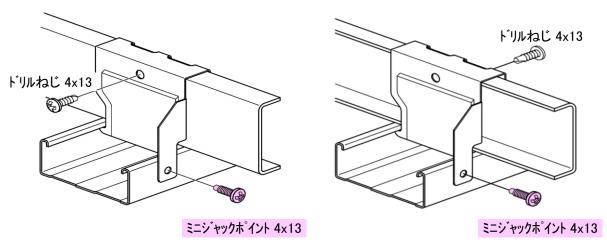
表3. 同梱ねじの種類、数量

	ねじの種類	野縁用 ミニシ゛ャックホ゜イント 4 × 13	野縁受け用 トリルねじ 4×13	同梱
• MCSクリップ [°] (0.8)	1000個/ケース	1,000本	1,000本	計 2,000本
• MCWクリップ [°] (0.8)	500個/ケース	500本	500本	計 1,000本

3-1-2 緊結方法

MCクリップの取り付けは通常のクリップと同じく野縁受けに対して交互に取り付け、図2.の通りにビス止めする。ビス止めする対象によりねじの種類が違うので注意すること。

図2. 緊結方法



外掛け(背掛け)の場合

内掛け(腹掛け)の場合

3-2 部材の選定 計算書等から必要とされる強度に応じて部材と金具を選定する。

3-2-1 ブレース上部

ブレース上部金具とブレース補強材の組み合わせは表4.により選定する。

3-2-2 ブレース下部 ブレース下部受け材はCC-25を使用する。

また、野縁受け及び追加野縁受けも同材を使用する。

表4.プレース補強材一覧表

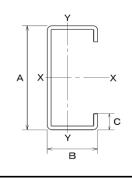
MCブレース・ストロングに対応	[C-40x30x10]	[C-45x30x10]	[C-50x30x10]
	40 40 30	45 45 10	50 10
	t 1.4 mm	t 1.4 mm	t 1.4 mm
MCブレース・ストロングLに対応	[C-60x30x10]	【□-60×30】	[C-65x30x10]
	t 1.4 mm t 2.3 mm	t 1.6 mm	t 1.4 mm t 2.3 mm

表5. 断面性能表

商品名	単位重量	断面積	断面二次モーメント		断面係数		断面二	次半径
间加石	(kg/m)	(mm²)	Ix (mm ⁴)	Iy (mm ⁴)	Zx (mm³)	Zy (mm³)	ix (mm)	iy (mm)
C-40x30x10x1.4	1.218	155.10	40,380	19,760	2,019	1,124	16.1	11.3
C-45x30x10x1.4	1.240	159.00	53,900	19,100	2,390	1,010	18.4	10.9
C-50x30x10x1.4	1.300	174.00	71,000	22,600	2,840	1,220	20.1	11.4
C-60x30x10x1.4	1.420	188.00	108,300	24,200	3,610	1,260	23.9	11.3
C-60x30x10x2.3	2.280	276.00	155,200	33,700	5,170	1,750	23.7	11.0
□-60x30x1.6	2.130	277.76	125,000	42,500	4,160	2,830	21.5	12.5
C-65x30x10x1.4	1.480	195.00	130,400	24,800	4,010	1,260	25.8	11.2
C-65x30x10x2.3	2.350	286.00	187,300	34,700	5,760	1,770	25.5	11.0

※備考: 1. 適用長さは、吊りず 外の長さ 天井仕上げ材の重量により変わる。

2. 部材選定は、強度計算による。



- **3-3** 7"V-Z補強設置要領 7"V-Z補強を設置する際には下記事項を厳守すること。
 - ① プレースはX方向、Y方向それぞれにバランスよく1組以上設置する。
 - ② プレース相互の離れは5m程度以下とする。(1組のプレースが負担する面積の限界は25m²とする。)
 - ③ プレースの角度が大きくなるとその効果が低下するので、プレースの角度は60°以下とする。
 - ④ 天井のフトコロが1500以上の場合は、水平補強材をX,Y方向に@1800で均等割に設ける。
 - ⑤ 水平地震力が加わったときの吊りボルト座屈防止の為、斜め補強はV字補強とする。
 - ⑥ 斜め補強材下端付近にあるクリップは、MCクリップガード(t1.6)にて補強する。 (斜め補強材に伝わる荷重が野縁-クリップに加わる為)

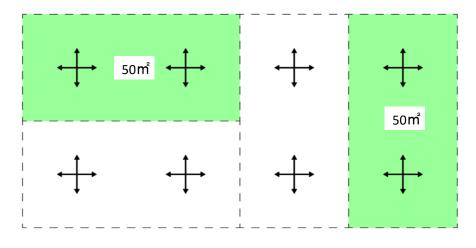
(1) 斜め部材は、吊り材が座屈しないように、2本の斜め部材の下端を近接してV字状にした形状に配置したものを1組とし、表に掲げる式により算定した組数以上を張り間方向及びけた行方向にそれぞれ釣合い良く配置しなければならない。

また、斜め部材が釣合いよく配置されている状態としては、例えば、一体として挙動する天井面をおおむね50㎡以下の均等かつ整形な範囲(XY方向それぞれ2列以上)に分割(ゾーニング)し、当該分割された範囲におおむね同じ組数のV字状の斜め部材が配置されているような状態を一つの目安とすることができる。

「建築物の天井脱落対策に係る技術基準の解説」(平成25年9月)第2章 仕様ルート2-9 斜め部材の配置より抜粋

3-4 パーニンク ブレースのパーニンク (分割) に関しては設計通りとし、設置場所を変更する際は設計者の指示に従うこと。ブレース設置の基本パターンについては図3による。

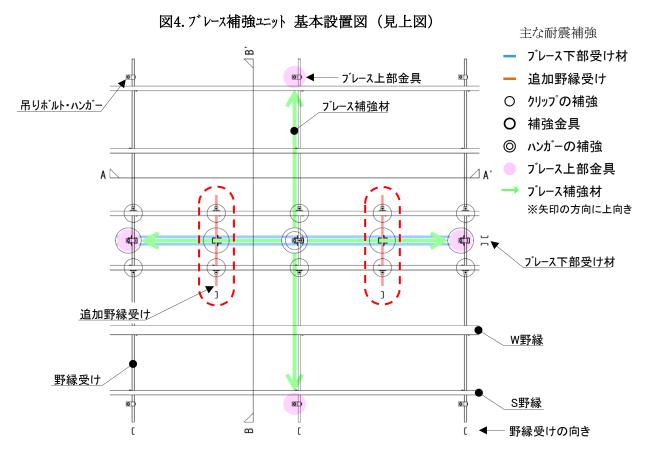
図3. プレース設置の基本パターン(X, Y方向に1組)



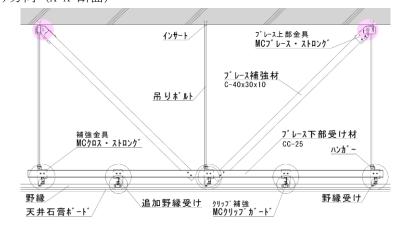
※矢印の方向に上向き ※プレース相互の離れは5m程度以下

3-5 耐震補強部材の取り付け方法

3-5-1 ブレース補強エットの設置 耐震補強はブレース補強を設置する周辺とし、図4.の通りとする。



野縁受け方向 (A-A'断面)



野縁方向 (B-B'断面)

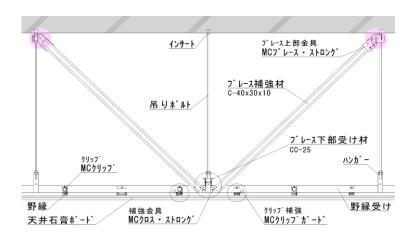
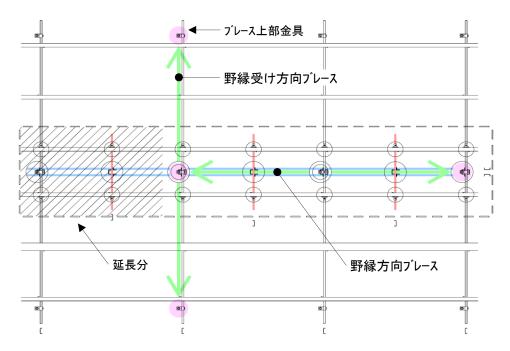
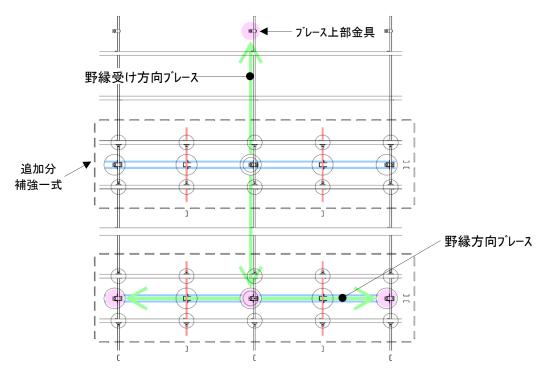


図5.ブレース補強エット設置例【野縁方向にブレース補強が離れる場合】



ブレース下部受け材を次の野縁受けまで延長し、追加野縁受けを増やす。

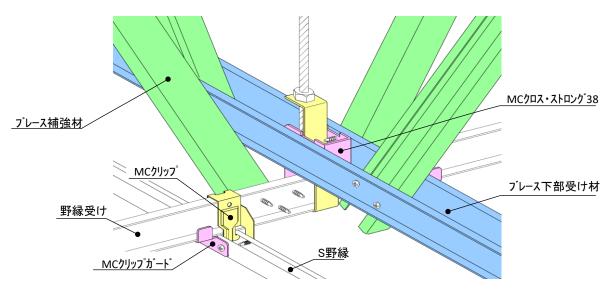
図6. ブレース補強ユニット設置例【野縁受け方向にブレース補強が離れる場合】



野縁受け方向のブレースにも別に補強一式を設置する。 ブレースの距離が近くてもブレース下部受け材からブレースの中心(V字の下部)がずれた場合は 補強の効果が薄れる為、必ず両方補強する。

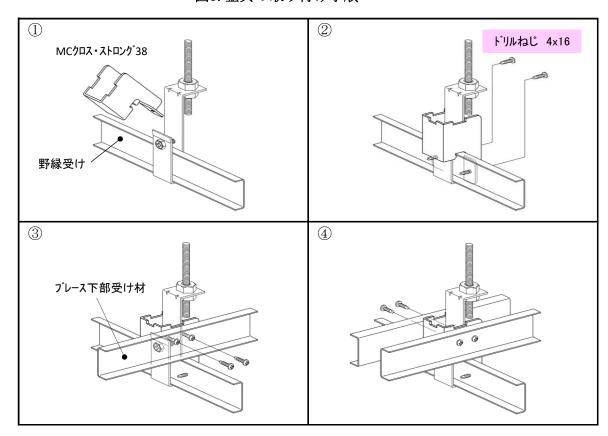
3-5-3 ブレース下部受け材の取り付け V字に設置したブレース補強材の下部に位置するハンガーにMCクロス・ストロング 38を取り付ける。取り付けは野縁受けに対して直交方向にブレース下 部受け材を設置する為、3本の野縁受けにMCクロス・ストロング38を取り付 ける。

図7. プレース補強材 下部詳細図

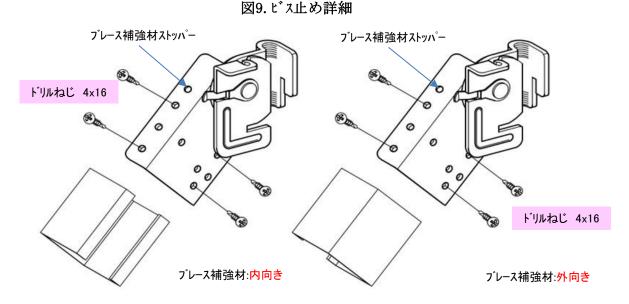


- ① MCクロス・ストロング38の取り付けはハンガーの上からかぶせて取り付ける。
- ② 野縁受けの背面側からドリルねじ4x16で止め付ける。
- ③ 下部受け材をドリルねじ2本で固定する。 (ハンガーに当たらないよう注意する)
- ④ 反対側も同様に取り付ける。
- ⑤ プレース補強材の下部が野縁受けと並行方向の場合、直接野縁受けに固定する。

図8. 金具の取り付け手順

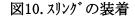


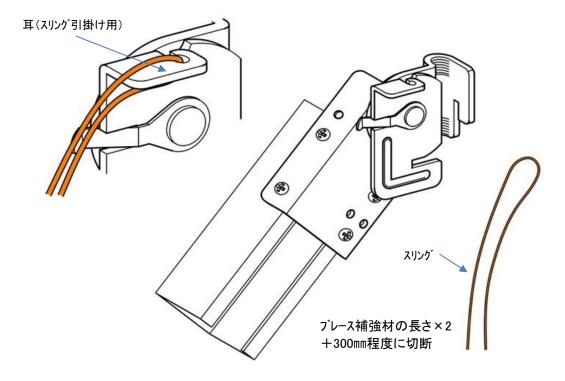
- 3-5-4 ブレースの取り付け方法 MCブレース・ストロングを例として取り付け方法を説明する。より詳細について は取扱説明書や専用の標準施工要領書を参照すること。
 - ① プレース補強材の先端にMCプレース・ストロングをビス止めする。取り付ける際は、可動片内側のプレース補強材ストッパー(凸部)にプレース補強材先端部を突き当てて図9.のように2本ずつビス止めする。



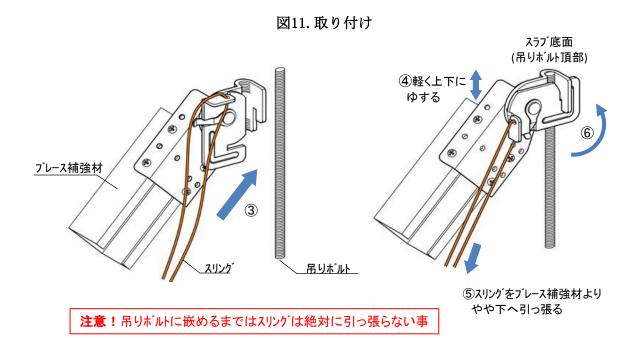
注意!ブレース補強材の取り付けは、向きが変わっても同様にヒス止めする

② MCブレース・ストロングの設置に使用するスリングは、<u>ブレース補強材の長さ×2+300mm</u>程度に切断し、スリング中央部をカバー部の耳に引っ掛ける。





- ③ カバー部の耳にスリングを通してプレース補強材と一緒に持ち、設置する吊りボルト頂部、スラブ底面に固定片が当たるまでピンポイントで持っていく。
- ④ MCブレース・ストロングの固定片がスラブ底面(吊りボルト頂部)に当たったら吊りボルトに沿って数回軽く上下にゆすりめねじ部に馴染ませる。
- ⑤ 固定片のめねじ部に馴染んだらスリングを2本同時にプレース補強材よりやや下へ引っ張る。
- ⑥ カバー部が回転しストッパーがパチンとロックされたらスリングの片側を引き抜き完了。



⑦ スリングが途中で切れたり抜けたりしてロックが不十分な場合は、脱着金具でカバー部を上に押し上げ、完全にロックさせること。

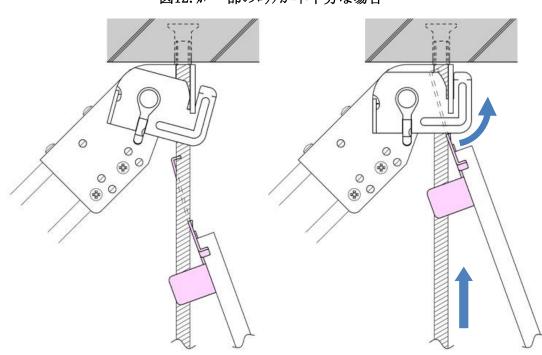


図12. カバー部のロックが不十分な場合

- 3-5-5 クリップの補強方法 ブレース補強材下部付近のクリップには、ブレース補強材に伝わる水平荷重が野縁から加わるのでMCクリップガードで補強する。
 - ① 補強するMCクリップの横へ図13.のようにMCクリップガードを取り付ける。
 - ② 取り付けはまずMCクリップガードを野縁受けに①ドリルねじ4x13で緊結する。緊結の際には野縁と隙間が出来ないようしっかり押し付けて行う。
 - ③ 次にMCクリップガードと野縁を緊結する。野縁に緊結する際には必ず回ミニジャックポイント4x13を使用すること。

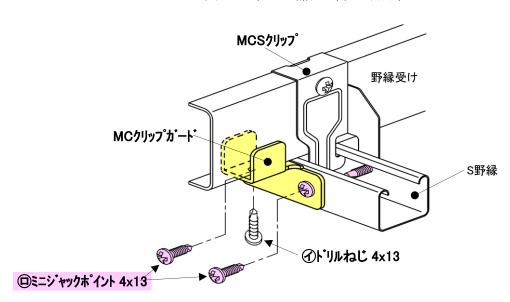


図13. クリップの補強(取り付け)

4. 品質管理

MC高耐震工法strong38の点検・検査は4-1 自主検査表に基づき実施する。



4-1 自主検査表 (MC高耐震工法strong38)

品質	質管理 担当者名				印	最終	終確認日		
Ιŧ	事名称					施	工業者名		
部	屋 名		施コ	C 階	階	自:	主管理		
水平投影面積		m²				責任	任者名		
耐加	震斜め補強要領	特定天井仕様							
補引	歯部材		1組	祖当り面積 m [*]		斜め補強	組数	組	
No	7	検 査 項 目		検	査 基 準		検査方法	判定	確認日
1	斜め補強材の材料は適正か			表3.ブレース ^を 基づいてい	補強材一覧表 るか	<u> </u>	目視	合・否	
2	必要単位面積毎に ているか	こ1組の斜め補強材が設置	iされ	別紙耐震記			目視組	合・否	
3	斜め補強材上部は指定の固定金物を使用して いるか			表3.ブレース 基づいてい	補強材一覧表 るか	<u> </u>	目視	合・否	
4	斜め補強設置位置	置は適切か		吊りボルトの根本目視			目視	合・否	
5	野縁受け方向の余 適切か	野縁受け方向の斜め補強材下部の取り付けは 適切か			野縁受けに固定されているか		目視	合・否	
				ビス止め間隔			計測	合・否	
				離れ寸法 200 ㎜以内か			mm		
6	野縁方向の斜め初	浦強材下部の取り付けは 通	適切か	プレース下部受け材に固定され ているか		目視	合・否		
			İ	ビス止め間隔			計測	合・否	
				離れ寸法 200 ㎜以内か			mm	<u> </u>	
7	追加野縁受けの耳	なり付けは適切か		野縁受け <i>0</i> MCクロス・スト)中間部に ロングでビス止る	め	目視	合・否	
8	ブレース下部受け材廻りにMCクリップガードは取り付けてあるか		り付	取り付け方法は適切か			目視	合・否	
9	斜め補強材の設置	置角度は適正か		30° ∼60°	以内か		計測。	合・否	
10	金物固定部にじる	 漏れはないか					目視	合·否	
11)	ダクト・配管・ラック等	に 干渉していないか					目視	合・否	
15	総体の仕上げ状態	態は良いか					目視	合・否	

<u>備考</u> (否の場合の対応など)